

岡山ESDアワード2015

和気閑谷高校 高校魅力化事業

～ 地域と連携した課題解決型学習 ～

(地域連携／総合的な学習の時間／教育活動全体でのESD推進)

平成27年12月13日(土) 於:岡山市立中央公民館



岡山県立和気閑谷高等学校



本日の内容

1. 学校の概要とESDの取組
2. 地域連携の取組
3. 成果と今後の展望

1. 学校の概要とESDの取組

岡山県立和気閑谷高等学校

岡山県
和気郡
和気町

1670年閑谷学校設立
(創学345年)

2011年ユネスコスクール
(閑谷学校ガイド／歴史・文化)

和気町内唯一の高校

普通科、キャリア探求科

生徒数407名(12月1日現在)

本校の源流 閑谷学校



釈菜(せきさい)
孔子を祀る儀式



論語朗誦(左:全校集会、右:朝SHR)

ESD②…生徒会主催 地域でのボランティア活動

学童保育…担当曜日を決め、毎日高校生が出向く



エコキャップ…学校以外に町役場、小学校、中学校
町の方が直接持ち込み



閑谷グリーンズ

…小学生の野外活動を大学生と一緒にサポート

ESD③…世界大会高校生フォーラム参加

高校生が運営

岡山350名 + 大阪160名



10の係 + 5回の準備セミナー
スキルとハートの向上



どの係も欠くことのできない
重要な役割

共創的ディスカッション



「受け入れる」
「共感する」
をキーワードに…



持続性を促進
持続性を阻害
を高校生の視点で議論



より良い未来の発展ために



高校生宣言文



2. 地域連携の取組

地域貢献活動へ — 町とのつながり



和気町水辺の楽校



和気町
ウォーキング大会



金剛川の清掃



和気町子ども塾



和気町秋まつり

地域貢献活動へ — 商工会とのつながり

ショーウィンドウディスプレイ

店先を展示スペース
として提供

部活動
委員会
生徒会
などの紹介



町への提案 — 観光マップ「WAP」



生徒会発案で和気町補助金等交付事業に応募

「和気町の観光スポットをイラストで紹介し、和気町の観光から地域を活性化する。」

■ イベント

- 節まつり
和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。
- 和文字焼きまつり
和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。
- エルニョーション点灯式
和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。
- ふるさとまつり
和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。和気町の歴史をたどる。

■ 和気駅北口地域

施設名	住所	電話番号
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111
和気駅前ビル	和気町北口1-1	089-32-1111

和気駅北口 MAP

和気町観光マップ

和気町観光マップ

和気町観光マップ

和気町観光マップ

A 岡山県自然保護センター
B 高原の河口公園
C 和気鶴谷温泉
D 和気鶴谷交通公園
E 和気神社
F 和気清原公館
G 和気町歴史民俗資料館

和気町 MAP

和気町の紹介

和気町の自然

和気町の歴史

和気町の文化

和気町の観光

和気町の産業

和気町の教育

和気町の医療

和気町の福祉

和気町のスポーツ

和気町の芸術

和気町の科学

和気町の技術

和気町の情報

和気町の環境

和気町の安全

和気町の安心

和気町の健康

和気町の幸福

和気町の未来

町と県立高校の協働による魅力化

少子高齢化・人口減少

(現在15,000人→20年後には10,000人を割る)

→就業人口減→税収・行政サービス減

→伝統文化が途絶える

→資源が活用されない

→農作放棄地の増加 etc.

地域の活性化!



町と高校の協働による
魅力化事業

課題解決型探求学習で

学力・意欲の向上を!

学校の魅力化!

生徒数減少→クラス数減少

→教員減／高校としての機能の維持は?

高校の衰退→子ども連れ家族の流出→町の衰退



和気町役場



和気閑谷高校

持続可能な地域の形成をめざして

多様な主体の協働による
地域支援会議



町、商工会、観光協会、
商店主、高校、...



書道部



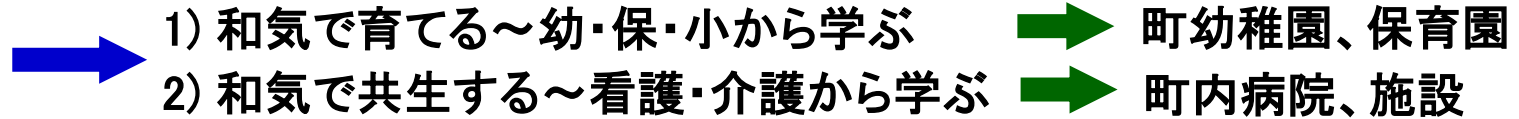
駅前銀行跡地の活用



町祭り

総合的な学習の時間で探究学習

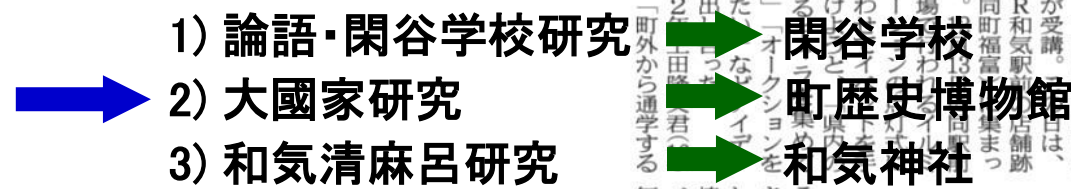
1. 和気 of 自然環境
2. 和気町内のインターナショナル
3. 和気で育てる、助ける



4. スポーツを通じた学び
5. 和気 of 歴史・謎に迫る



J R 和気駅前で行ったイベントの内容を話し合う生徒



6. 伝統・文化から学ぶ
7. バーチャル公務員になる
8. 和気で『生きる』を考える
9. 和気を元気にする
10. 和気町をブランディング

(平成26年度の例)

和気町を学習フィールドに！
10テーマ23講座
すべての講座で地域の方が講師に！

23文化や福祉講座
 閑谷学は、住民と協働し、地域について研究したり、課題の解決策を実践したりする総合的な学習「閑谷学」をスタートさせた。全1、2年生303人が自然や文化、歴史、福祉など幅広い分野からテーマを選んで取り組む。

和気閑谷高校(和気町尺所)は12日、生徒が住民と協働し、地域について研究したり、課題の解決策を実践したりする総合的な学習「閑谷学」をスタートさせた。全1、2年生303人が自然や文化、歴史、福祉など幅広い分野からテーマを選んで取り組む。

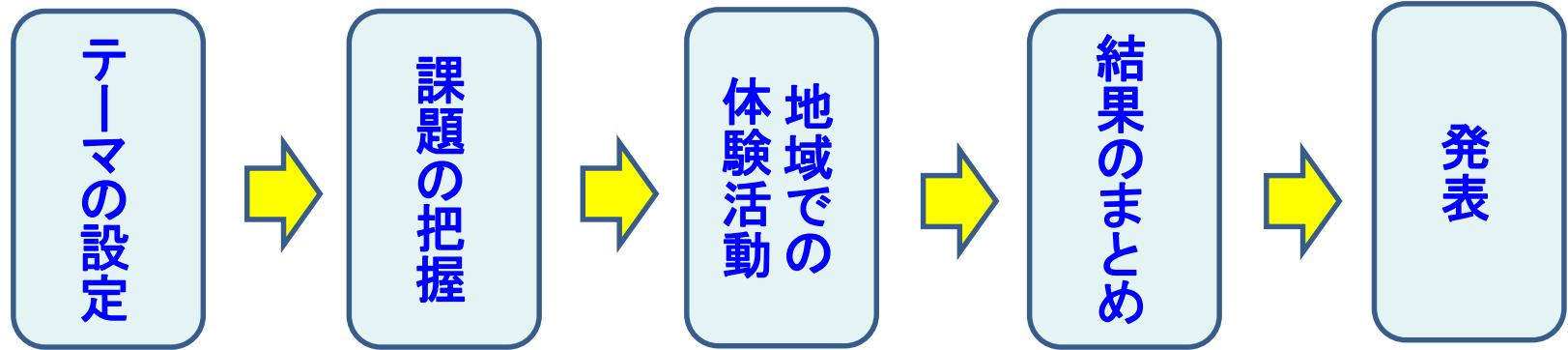


住民と協

地域を研究

2013年10月1日
 平成26年度
 和気町

探究学習の手順



実際に
体験



備前焼



町内施設
活用

商店街活性化

発表することで体験を
「真の自分のもの」に

町内の
専門家
から
学ぶ



和氣清麻呂研究



ステージ発表



パネル発表

探究学習 3年間の全体像

グローバル人材

3年生
これからの世の中

2年生
和気
と
世界

将来の夢・志

1年生
学問

学んだことを活用し、実践から学ぶ

自己成長

地域貢献

学習
(知識・技能習得)

自分
向いていること
できること
好きなこと

社会
求めていること
困っていること
解決しなければ
ならないこと

行動
(課題解決・実践)

探究学習 3年間の全体像

1年：自分たちが普段関わっていること、モノが、**学問と結びついている**ことに気付き、探究学習の**基礎**を身に付ける。



2年：身近な問題は実は**世界につながっている**ことを、「いのち、**ころ**、**らし**、**ぶんか**」の分野から探究する。



3年：一人ひとりが**進路を実現**し、これまで学んできたことが**これからの世の中でどのように実現できるか**を、和気町をテーマに協働して探究する。

論語から 広がる世界

- ・和気高の源流を知る
- ・人間力向上PG
- ・和気のゴミ問題



探究基礎

- ・グループワーク
- ・インタビュー方法
- ・アンケート方法
- ・プレゼン

いのち

らし

ころ

ぶんか

分野ごとに命題をおき、その解決策や提案内容を自分たちで考え探究する。

学校



和気町役場



デパート



病院



3. 成果と今後の展望

探究学習の成果を実践

論語・関谷学校研究



「地元の小・中学生や地域の方と
学び合う場を設定」



← 小中学校での
論語出前授業

商店街活性化



「駅前イルミネーション点灯式を高
校生の力で活性化」



← ポップコーン
ホットケーキ
おでん
綿菓子etc.
他団体の
補助

銀行跡地での →
町内論語講座



新しいつながり

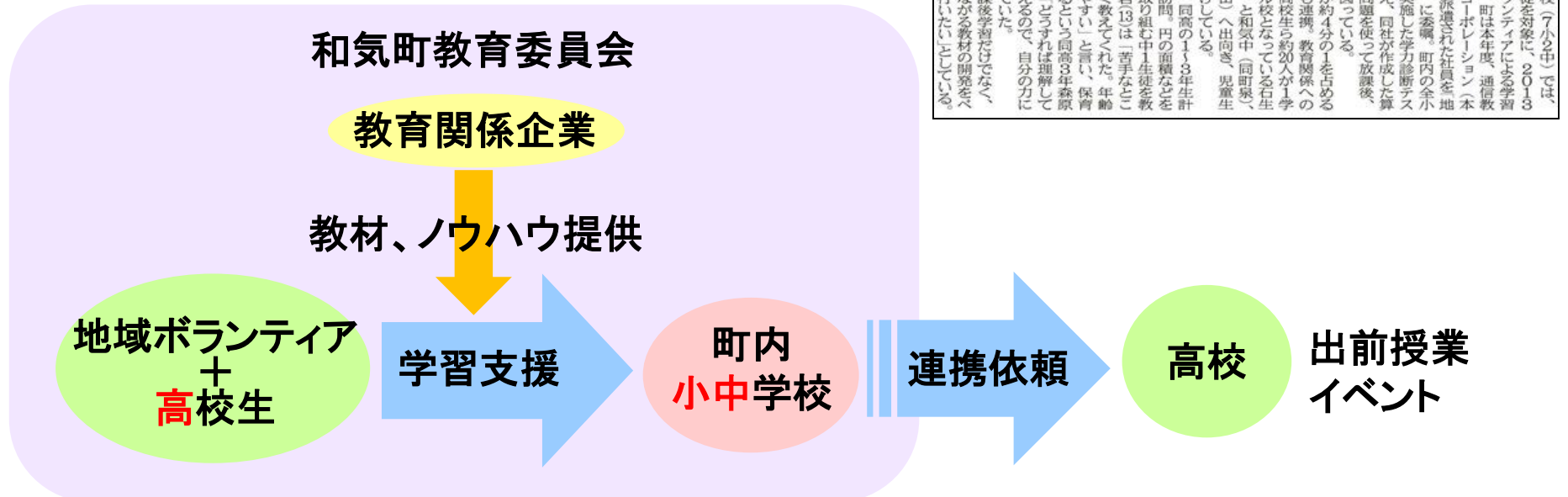
小中学校放課後学習支援に高校生が参加



地域の方と事前説明受講



中学校での学習支援



生徒の感想から

- ◆ これからも皆で和気閑谷高校をよりよい学校にしていきたい。
- ◆ 和気に対する思いが深くなっていった。機会があれば和気の良いところをたくさん知っていきたい。
- ◆ 人前で話すことが多い活動だったので大変だったが、苦手なことに挑戦できて良かった。
- ◆ 調べ、学び、発信する、という力が以前よりはるかに身についた。
- ◆ 何かをしてもらうという考えがなくなり、自分で動くという考えに変わった。
- ◆ 自分たちに何ができるか、どうすればよいか、を自分で考えるようになった。

意識・態度の変化



コミュニケーション力

UP!

主体的に社会と関わろうとする意欲

生徒の感想から

◆和気閑谷高校はボランティア活動、でも環境問題や人権問題など、それぞれの学校がそれぞれのテーマで活動している。違いがあってもお互いに尊重して認めたくえで、未来に向かって活動しているという共通性があるからユネスコスクールは強いと思う。

◆国際交流において、言葉が通じるかどうかもあるけれど、もっと大切なことは、思いやりの心を持ちそれを態度で示すことだとわかりました

◆未来を考え、思考、ふるまい、態度、感覚を変えること

◆フォーラムの成功は、みんなの頑張りと、これまでの先輩やサポートしてくれた大学生のおかげです。ここで学んだ考え方や技術を後輩に伝えていくことが大切と思います。

生徒の感想から

◆本校のモットーである“ Build up new tradition ! ” は、

“ It's our turn to build up new tradition ! ”として生徒たちに**受け継がれています**。

◆私は様々な文化を理解することが持続可能な未来につながると聞いて、まず驚きました。(略)それならば、**今私がやっている「閑谷学校ボランティアガイド」も関係している**と考えるようになりました。

(略)互いの文化を理解して**尊重し互いを認め合う**ことは、文化と文化がつながりを
持ち続けていくということだと私は考えます。そして、続いていくということは、その
文化・歴史・伝統が**人から人へ**受け継がれるということです。この考えに至ったとき、
私は自分の将来の**夢**を見つけました。その夢とは、自分の生まれ育ったこの国・
地域と、世界の様々な国・地域の文化を学び、それらを発信してたくさんの人に
知ってもらい、**文化交流**の仕事がしたいというものです。

外部評価委員より

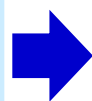
- ◆地域に出て行くことで、落ち着いた環境の中で、生徒たちが**自己肯定感、郷土愛、相手を思いやる心などの意識の向上**が得られている。
- ◆地域おこし協力隊をはじめとした**地域の支援を受け**、ボランティア、駅前の活性化など、**高校を核とした地域コミュニティの活性化と地域の担い手**として、生徒たちが貢献していることを強く感じる事ができた。
- ◆ESDへの体験を通して、**新たな気づきや自らの進路に対する意識**など、生徒の変わっていく様を見ることができた。
- ◆生徒たちが地域での活動を行ったことで、生徒たち自身の新たな成長の場となるとともに、生徒たちが**地元の活性化に取り組む**ということ意識するきっかけにもなったといえる。

岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワークの設立

岡山9校
和気 学芸館
一宮 清心
矢掛 龍谷
真庭 美作
林野



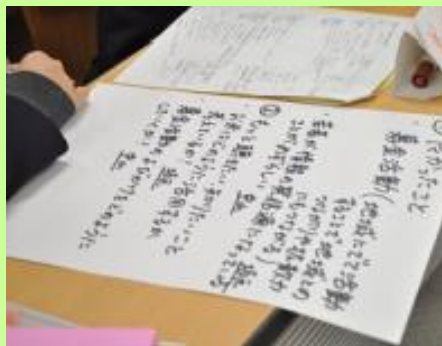
県高校教育課
県生涯学習課
岡山大学
岡山ESD推進協議会



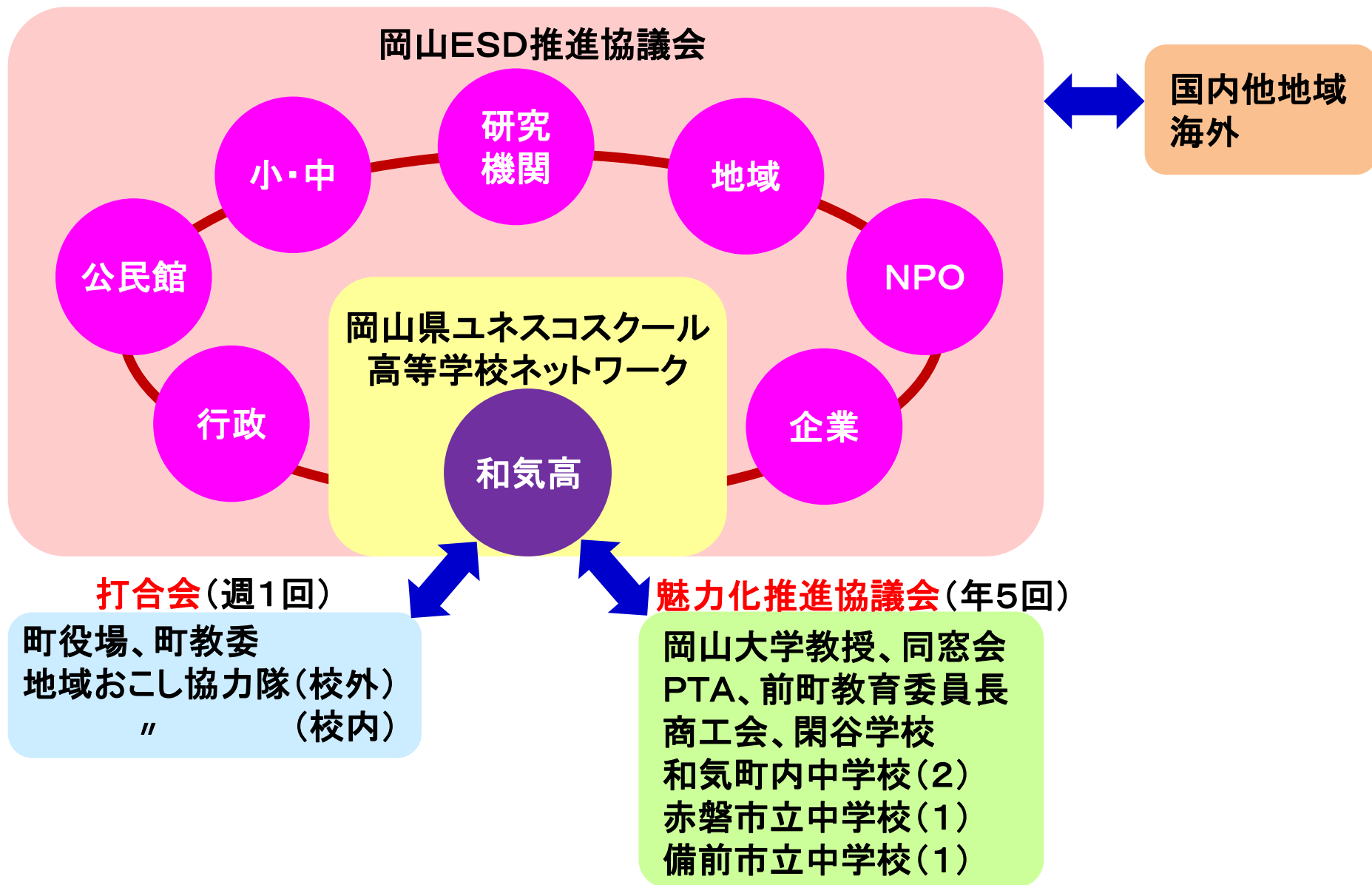
- 各校の ESD 実践活動を推進
- 相互の連携を深める
- 交流と学び合いを通じてネットワークとして活動を推進

11月1日 実践交流会

- 1 全体会
- 2 高校生ESD研修
- 3 実践発表
- 4 グループに分かれて昼食
- 5 ワールドカフェ形式ワークショップ
- 6 学校別ワークショップ
- 7 まとめと発表
- 8 閉会



ネットワークのひろがり



地域連携によるESDの取り組み

生徒

- ・地域への誇りと愛着
- ・課題発見 & 解決能力
- ・主体的な社会参画意欲

世界のどこにいても

コミュニティの課題を解決できる人材

地域の担い手
グローバル人材



和気閑谷高校

- ◎ 地域連携
- ◎ 教育活動全体でESD
- ◎ 論語



高校魅力化支援

- (まち経営課)
- ・地域おこし協力隊派遣
- ・地域おこし企業人派遣 (教育委員会)
- ・ふるさと教員派遣
- ・放課後学習支援協業

小学校

中学校

高校生による放課後学習支援
英語・論語出前授業

閑谷学支援

- ・学習の場の提供
 - ・企業、社会人講師派遣
 - ・インターンシップ受入
- ## 高校魅力化支援
- ・魅力化推進協議会参画

和気町
商工会

イベントでの
ボランティア

イベントでのボランティア
商店街活性化提案

閑谷学支援

- ・学習機会の提供
- ・企業、社会人講師派遣

和気
駅前
商店会

閑谷学・特別活動支援

- ・講師としての協力
- ## 高校魅力化支援
- ・魅力化推進協議会参画

町在住
有識者

生徒会主催ボランティア活動

- ・閑谷学校ガイド
- ・学童保育
- ・エコキャップ

ユネスコ
スクール

ユネスコスクール

- ・ボランティア/国際フォーラム参加
- ・ユネスコ世界大会高校生フォーラム

2011年認定

閑谷
学校

日本で初めての庶民のための郷校

- ・コミュニティのリーダー育成

1670年開校



ご清聴ありがとうございました。